

国産野菜の生産・利用拡大優良事業者表彰(農林水産大臣賞:グループ概要)

【グループ名】キャベツ契約取引グループ

構成員	取扱品目(生産者)、構成員概要(実需者及び流通業者)	加工・業務用需要に対する取組概要
生産者 茨城中央園芸農業協同組合 (茨城県東茨城郡、設立:昭和53年) 代表者:代表理事 久信田国夫	キャベツ、こまつな、ハウレンソウ等	実需者への安定供給に努める丸仙青果(株)が、他産地との出荷量の調整機能を果たしつつ、契約取引を主体とした園芸作物の生産を行う茨城中央園芸農業協同組合と高品質で安全な国産野菜の消費者への提供を目指すリンガーハット(株)の三者が一体となって、原料野菜(キャベツ)の品質及び安全性を高め、契約取引により原料野菜を安定的に供給する取組を行っている。
実需者 株式会社リンガーハット (東京都港区、設立:昭和45年) 代表者:代表取締役社長 八木康行	野菜ちゃんぽん、ぎょうざを主力商品とした飲食店「リンガーハット」等をチェーン展開。	
流通業者 丸仙青果株式会社 (東京多摩青果市場内、設立:昭和25年) 代表者:代表取締役 富沢喬基	リンガーハットのほか、日本レストランエンタープライズ、オリジン東秀等の実需者に青果物の供給を行っている。	

【グループ名】セブン・イレブン ほうれんそう国産化推進チーム

構成員	取扱品目(生産者)、構成員概要(実需者及び流通業者)	加工・業務用需要に対する取組概要
生産者 有限会社テンアップファーム (千葉県富里市、設立:昭和62年) 代表賞者:代表取締役 森田健雄	トマト、にんじん、ほうれんそう、すいか等	高機能化された物流施設を備える横浜丸中青果(株)が流通の中継基地として機能しつつ、高品質な野菜生産を目指す(有)テンアップファームと鮮度と品質を保って安全・安心な商品提供を目指すセブンイレブンジャパンの3者が一体となって、産地から店舗までの一環した温度管理(コールドチェーン)を行い、鮮度と品質を保ちつつ、原料野菜(実需者が販売する惣菜の原料となるハウレンソウ)を契約取引により安定的に供給する取組を行っている。
実需者 株式会社セブン-イレブン・ジャパン (東京都千代田区、設立:昭和48年) 代表者:代表取締役社長 山口俊郎	フランチャイズ制度で現在国内に11,750店(H19.5末現在)を展開。原料野菜の調達は、日本デリカフーズ(弁当、惣菜等を製造してセブンイレブンジャパンに納入する業者からなる組織)の野菜調達会議が実施。	
流通業者 横浜丸中青果株式会社 (横浜市中央卸売市場本場内、設立:昭和22年) 代表者:代表取締役社長 原田篤	神奈川県最大の青果卸売会社であり、実需者への青果物の供給を行うとともに、高機能低温卸売場の設置、低温輸送(コールドチェーン)の提案等物流システムの高度化に取り組んでいる。	